

## 18. 術中迅速病理組織診断件数

### 項目の解説

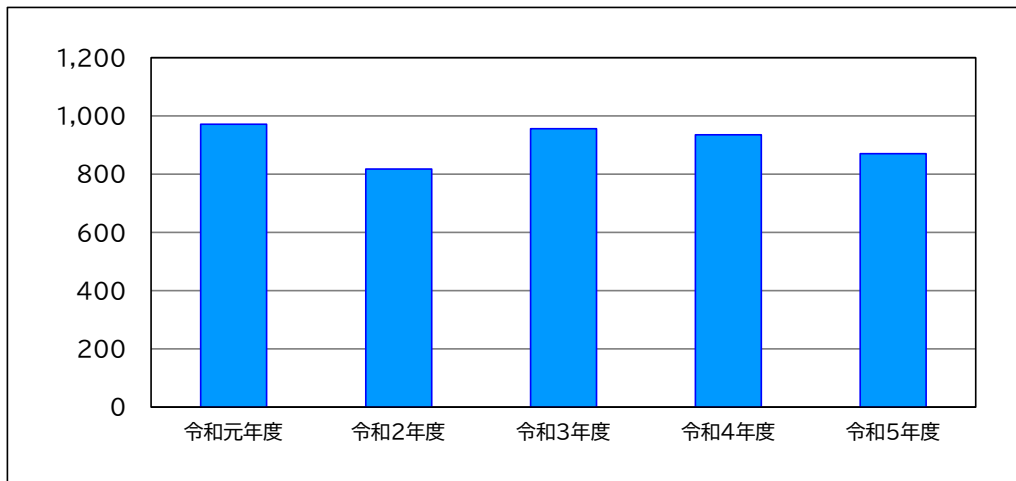
正確で迅速な病理診断は、手術中に悪性腫瘍などの病巣切除の適否または切除範囲を決定するために重要です。そのためには、限られた時間内に適正な標本作製する技術をもった臨床検査技師、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が必要となります。件数が増加するほど、これらの機能が充実していることを表現しています。

当院では、非常に多数例の術中迅速診断が行われ、適切な外科手術に貢献しています。

### 当院の実績

九州大学病院				
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
971	817	956	935	870

(単位：件)



### 定義

医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)、N003-2 迅速細胞診」の算定件数です。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL